

フロンティア分科会 幸福部会
第2回（平成24年2月24日）提出資料

農林水産省消費・安全局 小宮恵理子

2050年の日本の幸福の姿（延長線上）

- ▶ 現在の延長線にある幸福の姿 ⇒ 描くのが困難
 - ▶ 社会の不安定化
 - ▶ 社会保障費の増大(少子高齢化)
 - ▶ それを負担する労働世代は経済面でも受難(失業率向上等)
 - ⇒各年代が支え合い・思いやる経済的・心理的余裕が不足
 - ⇒無縁化の深刻化、社会的不満の増大(犯罪増加等)
 - ▶ 地域力の低下
 - ▶ 職場・サービス(医療・介護等)の集中する都市とそれ以外の地域
 - ⇒地域に残る者へのサービス提供、地域扶助力低下が課題



目指すべき2050年の日本の幸福の姿

- ▶ 「クオリティ・ライフ」の実現
 - ▶ 多様な価値観の実現(老若男女)
 - ▶ 子供世代: 十分な教育享受
 - ▶ 労働世代: WLバランス維持した働き方、子育て負担減
 - ▶ 高齢世代: 健康で、孤独や経済的心配がない
 - ▶ つながり/関係性と地域力強化(規律,信頼,社会安定)
 - ▶ 震災経験で感じた家族・友人・地域社会の重要性
 - ⇒ 皆にとっての繋がり場の場/プラットフォームとしての「地域社会」
 - ・高齢者と子供世代との交流 (社会教育、孤独防止)
 - ・労働世代の第3の軸 (祭り、まちおこし、街コン?)
 - ・地域の多様性の発掘・発揮 (B1グランプリ:食の多様性!)
-



幸福に向け切り拓く領域（フロンティア）

▶ フロンティア

▶ 多様な価値観の実現（老若男女） → 各世代参画

▶ 指標1：各世代の社会参画率（リーダー層に占める割合）

▶ 指標2：子育て支援率

（費用（教育・食費）負担率、環境整備率、希望子供数との差）

▶ つながり/関係性と地域力強化 → 世代間交流、提案型

▶ 指標3：地域での交流への参加率

（地域活動・祭参加率、一体化子育て・高齢者支援の利用率）

▶ 指標4：提案型/ニーズ即応型サービスの実現率

▶ 指標5：自主財源率（地域資源活用、環境・国土保全機能維持）



基本的原則 (guiding principles) 実現のための行動

- ▶ 基本的原則 (guiding principles)
 - ▶ 多様な価値観 (老若男女) の主張と寛容
 - ▶ つながりを育む循環/自立型の地域社会の構築
- ▶ 実現のための行動
 - ▶ ただちに
 - ▶ 子育て支援・環境整備
 - ▶ 各世代が社会参画できる・する環境の整備
 - ▶ 世代間や同年代交流を促す場/プラットフォームづくり
 - ▶ 5年以内
 - ▶ 魅力ある提案型/ニーズ即応型の政策決定・公共サービス提供
 - ▶ 循環/自立型の地域社会の構築 (地域資源を活用できる技術革新)

